

今月紹介する物語は、先生が出したある宿題がテーマです。

『ひとつだけ守りたいもの』

リンダ・スー・パーク／作 ロバート・セーヘン／絵 佐藤 淑子／訳 玉川大学出版部 2024 年
¥1800(税別) 93

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年★★★★ 中学生★★★★

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

ある学校で、チャン先生がこんな宿題を出しました。「火事になったとき、たったひとつだけ持ち出せるとしたら、何を持ち出すか考えてくること。家族やペットは無事、大きさは問いません。」

次の授業で、子どもたちは考えてきたことを発表し、話し合います。

スケッチブック。パパの財布。カーペットを持ち出せば、火が服に燃え移った人を助けてヒーローになれる！本棚をひとつって数えてもいいと思う？

みんなが考えそうなことから、思いもつかないものまで、様々なものがみんなの口から飛び出します。あなたなら、何を選びますか？

<子どもに手渡す時のポイント>

韓国の伝統的な定型詩「時調(ジチョ)」の形で書かれた物語です。3行、もしくは6行に区切られた文章はリズムカルで読みやすく、読者もこのクラスの一員になった気持ちで読み進められます。文字数は少ないですがしっかりとした内容で、挿絵もあまり子どもっぽくないので、長い文章が苦手な高学年や中学生にもおすすめです。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。